

## 業界初！！車両発電の軽散水車を開発

# アクティオの新型軽トラック散水車 登場

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタル業の株式会社アクティオ(本社：東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼COO：小沼直人、以下アクティオ)は、車両発電の軽散水車を開発し、夏から軽トラック散水車の本格的なレンタルサービスを開始しました。現在までに軽トラック散水車を導入した企業や団体はのべ 20 社にのぼり、お客様からのお問い合わせが急増中です。



現在、全国で頻発している地震や台風による河川の氾濫や土砂災害から、公道や市道など街のいたる所に溜まった土が乾燥し起こる土埃の問題が、ここ数年で深刻化しています。これまで、特殊車両の散水車不足や運転手の人材確保の難しさから、被災地ではこの土埃に対する早急な対応が困難な場合が多くありました。また、オリンピックの開催や建造物のインフラ整備にともない急増する建設現場では、粉塵の問題がクローズアップされており、散水に関する社会的ニーズが非常に高まっている現状があります。

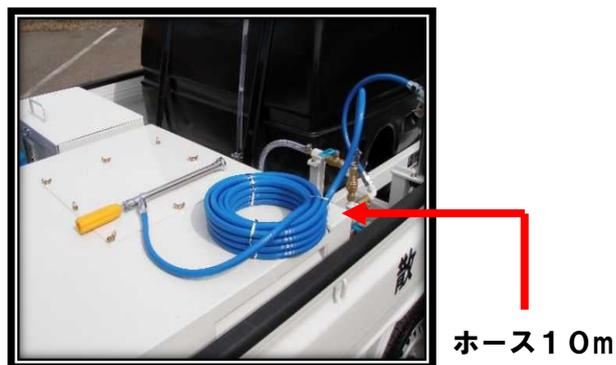
アクティオは、上記のような社会的課題の解決のため、路面の清掃や粉塵の抑制に役立ち、せまいスペースでも気軽に使用できる、高性能な軽トラック散水車を開発しました。

従来の軽散水車は、発電機、高圧洗浄機を設置し、さらに 300 リットルのポリローリタンク\*<sup>1</sup>を搭載することで軽トラックの最大積載重量 350kg を超過する車両や、フロントバンパーからノズルが前方へはみ出た車両など、道路交通法違反の車両が使用されるケースが業界内で散見されてきました。アクティオは、コンプライアンス（法令順守）の観点から適法に道路を走行でき、小回りが利く、使い勝手のよい軽トラック散水車のレンタルを行っています。

\*<sup>1</sup> ポリローリタンク：ポリエチレン製の主に水を貯めておく液体貯槽用タンク

## ■ アクティオの「軽トラック散水車」特長

- ① 軽トラックのため、細い道路や狭いスペースでの散水作業ができ、粉塵の抑制および路面の清掃が可能です。
- ② 散水車に発電機や高圧洗浄機を搭載せず、ポリローリタンクに約 350 リットルの水を貯水することが可能、過積載を気にすることなく運転することができます。
- ③ 車両前方には、加圧式散水、後方は重力散水にすることで、散水量を多くしました。また、お客様のご要望にお応えし、徐行をしながら樹木や花壇などに散水できる左側方散水を設置し、さらに、車両後部に手元散水としてハンドノズル（ホースは 10m）を搭載しました。
- ④ 性能は前方散水 4.3 リットル/分、後方散水 6.1 リットル/分、前方・後方全開で 10.4 リットル/分。全開で 30 分以上の散水が可能です。
- ⑤ 普通運転免許で運転が可能のため、建築・土木現場に限らず、自治体のイベントなど幅広い用途で気軽に使用していただけます。
- ⑥ ポリローリタンクは藻の発生を極力抑えるため紫外線を通しづらい黒色を採用、また、運転席より残量が分かるようにポリローリタンクに残量ゲージを取り付けました。
- ⑦ 車検証上の車体の形状は「散水車」として登録しています。



アクティオ「軽トラック散水車」動画アドレス [https://youtu.be/7g8iAbsl\\_Tc](https://youtu.be/7g8iAbsl_Tc)

## ■「軽トラック散水車」概要

名 称		軽トラック散水車	
車 両 寸 法		全長 3,395mm 全幅 1,475mm 全高 1,780mm	
型 式		AST350	
水タンク	容 量		350 リットル
	寸 法	長 径	900mm
短 径		750mm	
散水装置		型 式	前方加圧散水（車両前方 4 か所） 後方重力散水（車両後方） 車両左側方散水（車両左側 1 か所） 車両左外部散水（ハンドルノズル）
		操作方法	運転席内及び外部操作バルブ
水ポンプ		吐出量	2.9 リットル/min × 2 台 ※1
DC-AC インバータ		入 力	DC12V
		出 力	AC100V、3000W
乗 車 人 員		1 名	

※1 水ポンプ単体能力であり、散水車吐出部ではホースの圧損により実能力値は若干低下します。

## ■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、

専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】[http:// www.aktio.co.jp/](http://www.aktio.co.jp/)

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

## ■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 営業企画部広報課 担当：進、成澤

TEL:03-6854-1414 FAX:03-6854-1436 e-mail : [aktio-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:aktio-pr@kyodo-pr.co.jp)